

# ルナフォシルS仕上げ 施工の手引き

## 適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

【作成】平成21年11月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

## <使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	16kg/缶	約 80~106 m <sup>2</sup> /缶
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約 75~100 m<sup>2</sup>/缶</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80~106 m<sup>2</sup>/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> ( <u>ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ</u> ) <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T□□□□</u> ( <u>□…数字</u> ) <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650△○○○</u> ( <u>△…英字、○…数字</u> )	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ ペール缶	約 6 m <sup>2</sup> /缶
骨材	JF-66	ミックス骨材 Aタイプ	10kg/袋入り	約 9 m <sup>2</sup>
	JF-67	ミックス骨材 Bタイプ	21kg/袋入り	約 9 m <sup>2</sup>

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20~25 m<sup>2</sup>/セット)

## <主な施工道具>

- ・金ゴテ
- ・JR-75 (スポンジローラー) : { 9インチ替え筒 2本  
3インチローラー 1本、  
3インチ替え筒 1本 } 梱包
- ・JR-77 (並白糊刷毛) : 1本/梱包

※JR-75の9インチローラーには柄がついていません。

## <下地調整>

標準下地は、石膏ボード(プラスターボード)又はモルタルとする。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

## <ルナフォシルS仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1' JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1" JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り

・ JQ(W)-650を無希釈で0.9kg/m<sup>2</sup>となるよう金ゴテにて平滑に塗布する。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

### 3. 主材 配り塗り

配 合	<u>JQ(W)-650シリーズ</u>	20kg
	JF-66	10kg
	JF-67	21kg
	清 水	3ℓ
塗布量	約6.0kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	金ゴテ 金ゴテにて平滑に材料を配る。	

4. 洗い出し

追いかけ (5分以内)

- ・ 十分に水を浸したJR-77を壁面に対して寝かせ、横方向に動かす。(図-1)
- 刷毛引きは、骨材の色が見えるまで何度も行なう。
- ※洗い流した水で床が汚れるため、新聞紙、ウエス、マスカなどで床を養生すること。(図-2)

5. スポンジローラー押さえ

追いかけ (5分以内 時間厳守)

- ・ パターン付けを行なった後、滴り落ちる水をJR-75を十字に転がす事で吸い取っていく。(図-3)
- ※入隅では予め縦方向に転がした後、横方向に転がす。

## <施工のポイント>

・洗い出しは、JR-77を十分水に浸した後JQ-100の表面を軽く削るように行なう。  
この時、JR-77は壁面に対して寝かせ（図-1）パターン付けする。また刷毛は、こまめに洗う。

**※大量の水で洗い流すと塗材がたれる為、注意する。**

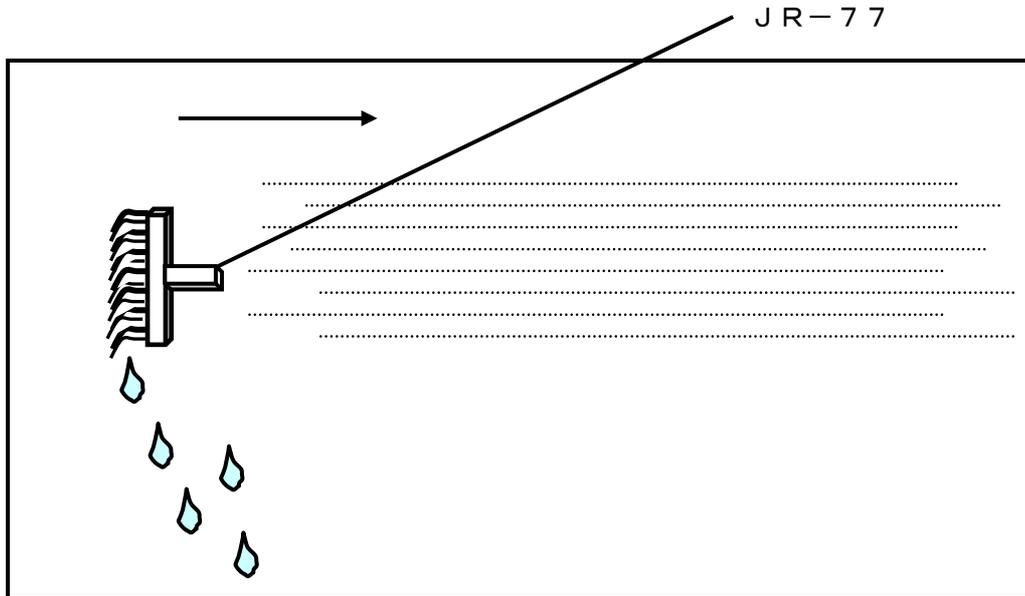


図-1

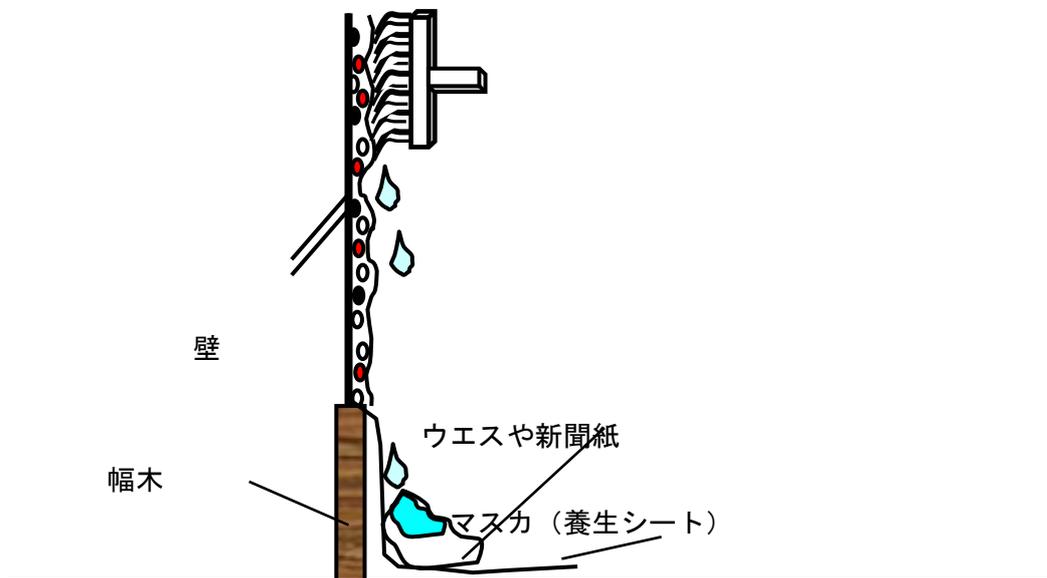


図-2

JQ (W) 650-74-01  
(JQ (W) -650 ルナフォシルS)

・JR-77で洗い出しをした後、JR-75を軽く十字方向に転がす。JR-75がある程度水を含んだら、きれいな水で洗い、その後、絞ってしっかり水を切る。

(JPの空き缶に水を入れておくと便利です。)

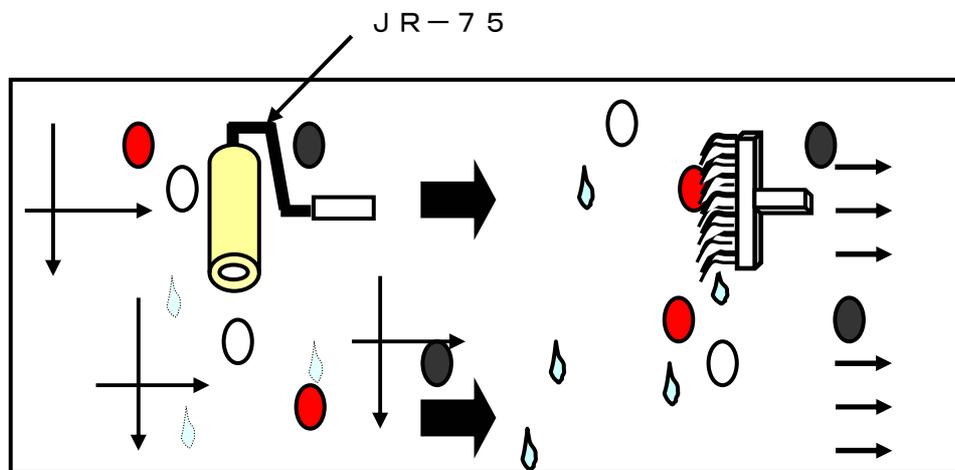


図-3

## <施工の注意事項>

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 配り塗り1人、洗い出し+スポンジローラー1人の2人1組で施工して下さい。
- ・ 内装を施工する場合には、床が汚れないよう必ず養生して下さい。
- ・ スポンジローラーで表面に浮いた水を除去して下さい。  
(きれいに除去できないと、水が垂れた跡が変色して見えます。)
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ この仕上げは天然石を使用している為、見本と色目が異なる事があります。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノンフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。  
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上